

第3回豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会

【実施概要】

○日 時：平成27年（2015年）8月17日（月）15時00分～17時20分

○場 所：くらしかん3階 会議室

○出席者：石川路子委員、加藤晃規委員、山下香委員、羽田亨委員、吉村直樹委員、鶴沢有希子委員、
吉田拓真委員、高橋一夫委員 計8名

○傍聴者：6名

【案件】

1. 前回の振り返りについて
2. 豊中市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（案）について（審議）
3. 豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について（審議）
4. 豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進体制（案）について（審議）
5. 答申書（案）について（審議）
6. その他

【資料】

- 資料1 豊中市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（案）
資料2 豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）
資料3 豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進体制（案）
資料4 答申書（案）
別添1 意見集
参考1 方向性のテーマ（案）
参考2 豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略基本目標及びKPI一覧
参考3 第3次庄内地域住環境整備計画、新・豊南町地区整備計画
＊第2回豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会議事録

【会議録】

●開会

●成立要件の確認

事務局 豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会規則第6条第2項の規定により、委員の過半数の出席を必要としますが、本日は委員総数8名中、全員出席いただいておりますので、成立要件を満たしております。

●案件1 前回の振り返りについて

●案件2 豊中市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（案）について

資料：「第2回豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会議事録」

資料1「豊中市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（案）」

参考3「第3次庄内地域住環境整備計画、新・豊南町地区整備計画」

（事務局から説明）

委員 南部地域は子どもの数が少ないので、小・中学校が統廃合されるとの話を以前聞いたことがあります、具体的に大きな場所が空く予定はあるのでしょうか。

事務局 再編を検討しているところではありますが、統廃合も含め、具体的なことは何も決まっていないと聞いています。

会長 遊休公共地があれば、そこを使った整備について書き添えることができるのではないかとご意見だと思います。豊中市は、公共施設総合管理計画を策定しているのでしょうか。

事務局 平成28年度を目標に策定作業を進めているところです。

委員 財政について、スチール缶、新聞、段ボールなどは資源ごみとして有効な財源になると思うのですが、市として回収する考えはないのでしょうか。

事務局 基本政策の中で資源ごみの有効活用をうたっており、生活支援の問題と抱き合わせて進めているところです。

会長 人口が減ったら資源ごみは減るのでしょうか。

事務局 クリーンランドでは、平成24年度から新たな粗大ゴミ処理施設を使っており、今よりは人口が減っていく前提で処理量を想定しています。

委員 人口の変化が与える影響として、地域間格差の拡大が一番の課題だと思います。便利なところに人口が集中し、不便なところは減少する傾向にあります。豊中市は色々な顔を持っている分、人口減少で格差が広がっていくのではないのでしょうか。

- 事務局 事務局としても、地域間格差は大きな課題と考えており、「将来の方向性」の部分に、南部地域のことについて少し触れています。
- 委員 失業率のグラフは、平成 22 年までのデータで上がってきているが、近年は下がっている印象があります。現在の状況はどうなっているのでしょうか。ハローワークの話を聞くと、失業率は随分下がっているようです。
- 事務局 ハローワークの把握している数字は、池田市も含んでいます。平成 22 年度以降、景気が好転していますので、グラフより失業率は下がっていると思います。
- 委員 もう少し近年のデータを扱っていただければと思います。
- 会長 都道府県単位では、失業率は毎月、調査結果を公表しているかと思います。
- 委員 土地利用として、空港周辺の移転補償跡地はニーズが高いです。アクセスが良いので集まってくるニーズもたくさんあります。市としての具体的活用の考え、動きなどがあれば教えていただきたいです。
企業を呼び込むことで、雇用も生まれるので、跡地の活用は大きなポイントだと考えています。
- 事務局 企業立地の促進を図るなかで、住工混在の解消のための検討や接道状況の改善のための補助などを実施しているところです。
- 会長 企業立地の促進については、総合戦略の中ではどこに書かれていますか。
- 事務局 基本目標（2）の中で「空港周辺地区への企業立地の促進」として記載しています。

●案件 3 豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について

資料：資料 2「豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）」

参考 1「方向性のテーマ（案）」

（事務局から説明）

- 委員 5 つの基本目標は非常にわかりやすくなったと思います。基本目標（3）は、中身が地域のコミュニティの話や地域包括支援の話など「地域」がキーワードになっていると思いますので、基本目標の表現の中に「地域」が入ると、もっとイメージしやすいと思います。
- 事務局 検討させていただきます。
- 委員 豊中市の良好な住環境は、敷地が広く、緑に囲まれたイメージではないかと思います。そのような住宅地は、建築協定があります。ただ、建築協定は更新がされなければ、住環境も壊れるので、「良好な住環境を次世代につなぐ」（p.9）の KPI として、建築協定の更新を加えてはどうでしょうか。

- 事務局 景観につながる話もありますので、検討させていただきます。
- 会長 建築協定はなかなか更新されにくいです。
豊中市では最近、景観協定も積極的に進められているので、景観協定あるいは、地区計画なども考慮した方がよいと思います。
- 委員 「心豊かに暮らせるまち」の内容としては、地域コミュニティなどより、音楽や文化、芸術全般に関するものの方が近いように感じます。
- 事務局 基本目標（3）については、いかに安心・安全な暮らしができるかという視点で具体施策をまとめています。
音楽については、基本目標（1）の中で整理させていただきたいと考えています。人の流れを呼び込む魅力として音楽を位置づけています。
- 委員 基本目標（4）にも「安心」という表現が使われています。
「心豊かに」でイメージする内容と具体的施策が合っていないように思います。「心豊かに」からは、生きがいをもたせられるかといった問題や、緑豊かなこと、スポーツができることなども連想されます。
- 事務局 もともと「安心して暮らせる」といったキーワードだったが、基本目標（4）との表現の違いを出すために「心豊かに」とした経緯があります。ただ、「心豊かに」はもっと広い概念ではないかのご指摘だと思いますので、基本目標の表現を内容に即した文言に変えたいと思います。
- 委員 これまでの議論のとりまとめについては、豊中での生活の価値を高めるためのものと理解しています。また、KPIなどを含めた取りまとめは、国との間での交渉事として大事だと思っています。
ただし、想定した人口の将来展望が達成できたかどうか、最終的な評価として重要なポイントになってきます。その場合、豊中市に来てもらいたい具体的な人物像を想定し、5つの基本目標を市外の人に伝えることが重要になってきます。そのためにも、庁内で政策をまたがり、部局間をまたがって議論していくが必要になってくると思います。来ていただきたい具体的な人物像とエリアをマトリックスで整理することも必要だと思います。
- 事務局 事業単位で十分検討していきたいと思います。
- 委員 基本目標（1）の「住む人を迎える」は、住む人をお客さん扱いしているように感じます。住む人が主体的にここに住むために押し寄せてくるイメージが伝わる表現、「呼び込む」など、人を積極的に集める施策が感じられる表現の方がよいのではないのでしょうか。
- 事務局 能動的なイメージが伝わる表現を検討したいと思います。
- 会長 基本目標（1）内のリード文で、「幹線道路」とありますが、「国土幹線道路」と表しておいた方がよいと思います。
- 会長 「大阪国際空港を活かしたまちづくりの推進」に関して、空港があることは市の強みだと思います。空港周辺の企業立地の促進は、もう少し踏み込んで国際的な企業立地と表現しても良いのではないのでしょうか。

- 委員 KPI として、空き家の割合を「増加させない」となっていますが、防犯の観点から少しでも「良化」させる指標の設定にできないでしょうか。
- 事務局 空き家を減らしていく取組みはこれから必要なことと考えておりますが、行政だけでは難しく、民間とタイアップして対策を講じる必要もあります。
空き家の有効活用手法も含め考えているところです。来年度以降、具体的に事業化した際に、もう少し前向きな KPI を考えていきたいと思います。
- 委員 基本目標（４）に関して、保育園と老人ホームを一体化して整備している自治体があります。子どもの成長や高齢者の健康にも効果的な面があるので、検討してもらいたいです。
- 事務局 豊中市では、保育所整備は民間活力を導入しています。保育所を整備する民間企業が、高齢者向け施設も運営されていたら可能だと思いますが、現在は市として、保育所と老人ホーム等の一体的運営は依頼していません。今後の運営手法の参考に、ご意見があったことを担当課に伝えたいと思います。
また、公共施設の再配置を検討する中で、多機能化、複合化をしていこうという考え方があります。今後、具体的に進めていく段階で、一体化する可能性もあります。
- 委員 基本目標（４）の KPI に関して、結婚せず働き続ける女性が増えたから女性就業率が上がっている側面もあります。女性就業率を上げる目標と同時に、結婚する女性を増やす視点も考慮していただきたいです。
- 事務局 国が結婚・出産・子育ての切れ目のない支援を掲げているなかで、豊中市としてどのような事業ができるのか、随分議論してきました。現在は、豊中市で結婚したらできる暮らしを、冊子などを使って PR をしています。
他都市では婚活支援を行っているところもありますが、豊中は大都市近郊ということもあり、流入出が大きく、引っ越して定住する時にはすでに結婚している人も多いので、豊中で結婚支援が施策として適しているかどうかは悩ましいところです。
- 事務局 将来の方向性のテーマ（案）についてもご意見を頂戴したいと思います。
- 会長 前回、若い世代にターゲットを絞るのはいかなものかとの意見もあり、新たな２案を事務局から提案いただいておりますが、いかがでしょうか。
- 委員 ２案の中では、「まちの魅力にひとが集い、しごとが生まれ、未来につながる」がよいと思います。「若い世代」にターゲットを絞るのであれば、もっと具体的施策の中に盛り込まれるべきことがあるように感じました。
- 会長 現段階では、多世代をターゲットにする方がよいとの市の判断なのでしょうか。
- 事務局 この委員会と同様に、庁内会議でも若い世代にターゲットを絞ることにに関して、どうかとの意見がありました。事務局としては、若い世代に特化させたい思いはありましたが、若い世代のみをターゲットとして総合戦略をつくるのが難しかった感があります。
- 会長 多世代をターゲットにしておく方が、豊中市にとっては人口減少を抑制し、しごとが増える可能性があると感じます。多面的、総合的な方が取り組みやすいと考えられます。
- 委員 全体の構成から言えば、多世代をターゲットにしている表現でよいと思います。

- 委員 将来の方向性を「まちの魅力にひとが集い、しごとが生まれ、未来につながる」とされており、「しごとが生まれ」と産業界についても進めていくことが示されたことは良いと思います。
- 委員 人を呼び込むには、地域とひとをマッチングさせる仕組みづくりが大切だと思います。多世代的な視点で、外へうまくアピールすることが重要だと思いますので、「未来につながる」の方が合っているように感じます。
- 会長 皆様のご意見をまとめると、「まちの魅力にひとが集い、しごとが生まれ、未来につながる」の方が適しているのではないのでしょうか。

●案件4 豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進体制（案）について

資料：資料3「豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進体制（案）」

（事務局から説明）

- 委員 定住者を増やすための取組をすすめるにはマーケティングが必要ですが、マーケティングはターゲットを決めて展開をするなど、まんべんなく情報をいきわたらせることもしません。ある意味で差別化していきます。
こうしたことは行政の苦手なところで、専門職員を雇う、あるいは、専門の組織をつくる、業務委託するなどをした方が良いのではないかと考えています。
- 会長 推進体制における国の考え方は、検証機関の設置のみであります。豊中市としての独自の推進体制については、今後検討してもらいたいと思います。
- 委員 市の中に、まち・ひと・しごと創生総合戦略部ができるのでしょうか。
- 事務局 新たな部を設置するものではありません。全体の統括は、企画調整課になると思います。
「外にまかせる、もしくは専門職員を入れる」といったご意見は、想定しておりませんが、委員会の答申としてご意見いただければ、今後検討させていただけると思います。

●案件5 答申書（案）について

資料：資料4「答申案」

別添1「意見集」

●案件 6 その他

(事務局から説明)

事務局 今回いただいたご意見は、事務局で整理させていただき修正させていただきます。修正したものは、会長一任という形をとらせていただきたいと考えています。答申前には各委員に最終案を配布させていただきます。
8月28日(金)午後4時から市役所第1庁舎3階にて市長へ答申書の提出を行っていただく予定です。